

## スリランカとの国交樹立50周年記念し

### 親善使節団が現地訪問

横浜・善光寺の黒田武志住職は、三月八日から十二日までスリランカを訪問。九日にコロンボのバンダラナイケ国際会議場で開催された「世界平和祈願コロンボ大会」で「ダルマパーラの贈り物」と題して基調講演を行う。仏教復興に身を挺した大菩提会の創設者・ダルマパーラの業績をふり返りつつ、二十一世紀の人類が世界平和のために仏陀の智慧から何を学ぶべきかを問いかけて大きな反響を呼んだ。

使節団は終始国賓待遇の歓迎を受け、元駐日大使のK・コデイトウーワック人的資源開発・教育・文化大臣、ピパッシ財団のペルポラ・ピ

## ニュース・アラカルト

パッシ理事長、スリランカ大菩提会のB・ウパティッサ会長ら政府要人や仏教界長老らと交流を深めた。

一行はまた大菩提会本部での盛大な歓迎式典に出席。また孤児や障害者など多くの子供たちの救済活動を展開しているサルボダヤ運動の瞑想施設を訪問。さらにキャンデーの仏歯寺やダンプーラの石窟寺院を巡拝し、シギリヤ城砦に登行するなど各地で仏教国スリランカの歴史と文化にふれた。

黒田団長とその一行のスリランカ訪問は、まさに仏教を通じた日本・スリランカ交流史の新たな扉を開くものといえる。

### 国賓待遇で歓迎受ける

昭和二十六年九月にサンフランシスコ対日講和条約締結。翌年四月の条約発効から数えて昨年は頂度五十周年。同時に成立したスリ

ランカとの外交関係も五十周年。それにともない国家レベルの記念行事が日本各地でも開催された。日本の仏教関係者によりスリランカ訪問友好親善使節団の派遣も、コディトゥーワツク大臣から正式招待の招請状が届きその結果両国交流の推進・発展を願って計画されたものです。

かつて「インド洋の真珠」と呼ばれたスリランカは、戦後イギリスから独立して自立の道を歩み始めるが、国内の安定は容易に得られず、政権抗争や民族間紛争をくり返してきた。こうした中でも、スリランカは日本にとって最も友好的で大恩のある国として、文化・技術・経済の多分野にわたり深い交流と協力の関係を維持してきた。

使節団は団長を支える、統括本部長に「心のひろば」主宰の武本俊氏、事務局長に報恩閣住職の釈正輪氏が就き、総勢八十人にのぼっ

## ニユース・アラカルト

た。

### 歴史的意義持つ訪問

#### 首相執務室を表敬

十日、黒田団長らは首相執務室を表敬訪問のち、ガンガラマヤ寺を訪問。

使節団に対するこの度の訪問。何処を訪ねても歓迎ぶりは熱く、到着時、コディトゥーワツク大臣から「この国はいま大きく変化しつつある。本来は厳重な警備体制の中にあるが、皆さんは自由に行動できるようになった。日本とスリランカの交流を向上発展させるのが私たちの使命であり、仏教を通じた交流はますます発展すると思っている。この訪問は歴史的意義を持つだろう」と歓迎の言葉。それを裏付けるように至れり尽くせり、旅団にとっては忘れ得ぬ想い出となった。

## ダルマ・パーラの智慧語る

### 黒田武志氏が記念講演

#### 大菩提会本部へ

大菩提会への道のりは、騎乗兵や象、小・中学生の音楽隊、民族衣装を着た舞踊団らの大行列。三百人の浴道は歓迎一色。大菩提会本部での使節団は、黒田団長に導かれダルマ・パーラへの献花。本堂で仏陀像に向い読経した。のち、大講堂で歓迎式典が開かれ、大菩提会副会長のカル・ジャヤスリヤ・エネルギー大臣からの歓迎の言葉があり、ラニル・ウィッククラマシンハ首相から熱烈歓迎のメッセーじが読み上げられた。

また、ジャヤスリヤ大臣から黒田団長に感謝状が贈呈され、黒田団長からは記念品が贈られ

## ニュース・アラカルト

た。黒田団長は席上、善光寺留学僧育英会の理事長として、平成十五年度・第十九回留学僧に採用したスリランカ僧のダガマ・マイトレーヤ氏に辞令を伝達。バンドラ・グナワルダナ農村経済・財政大臣は「私たちの国の目的は平和を取り戻し、経済的に発展することだ。これを果たすためには日本の協力が要だ。日本は、これまでわが国に対し最も多くの援助をしてきている。こうした交流はわが国の発展のために大きな力となると思う」と挨拶した。

また国際会議場では、肖像画と歓迎の横断幕。政府関係者や僧侶たち、子供たちや音楽隊、そして舞踊団が長い列を作って使節団を歓迎。会場は聴衆で埋め尽くされ、使節団による献茶式、野党党首マヒンダ・ラージパックサ氏の挨拶、使節団による読経の後、黒田団長の基調講演。その中で、ひときわ声を高くして。

「一人の人間、一つの民族、一つの国家だけ

が平和で幸福ならそれでよしとする価値観があるとするなら、それは葬り去られるべき過去の遺物といわねばならない。貴国が生んだ世界最大のNGO（非政府組織）、サルボダヤ運動の創始者アリヤラトネ博士の提唱される『サルバ・ウダヤ（みんなのめざめ）』の思想こそブッダ・ダンマの原点であり、ダルマ・パーラが私どもに残してくれた贈り物そのものといえよう——と黒田団長は訴えた。

最後に黒田団長は、寛容と慈悲の演説から、「法句経」の一節を引用して講演を終え、会場は大きな拍手に包まれた。

やがてサルボダヤ運動の瞑想施設を訪れた使節団。この運動の創始者アリヤラトネ会長と歓迎のひとつときをもった。会長よりキングココナツの実にストローを差した手造りによる飲み物のおもてなしをいただいた。会長は孤児や障害者など多くの子供たちの救援活動を展開し、庭

## ニユース・アラカルト

野平和賞を受賞。その賞金を使って、アリヤラトネ会長は、この瞑想施設を整備したと語った。

### 俳句

節分会にちなんだ俳句が、お檀家の松本道宏氏から寄せられました。ご紹介いたします。

節分会

松本道宏

合掌の挨拶拝受節分会

雛壇に目無し達磨や節分会

節を説く落語口調や節分会

節分会般若心経大合唱

不況という鬼を払へり節分会

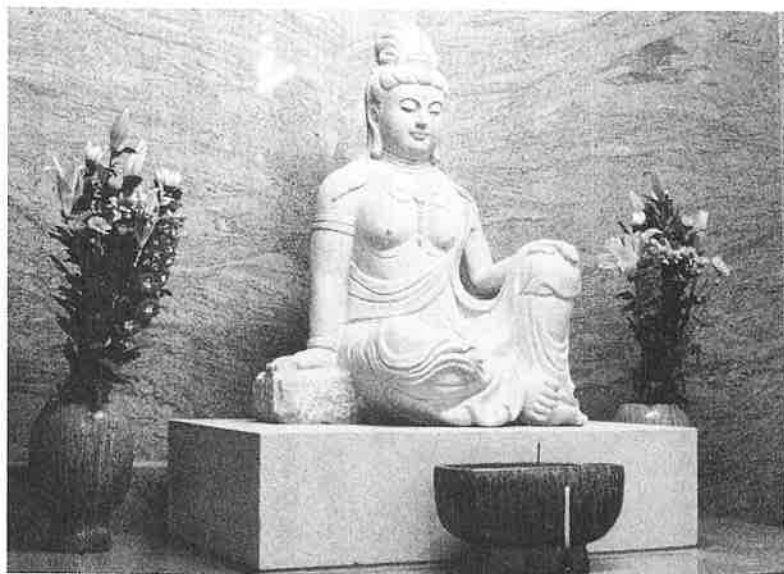
つつがなく迎えし古希や追儼豆

身の内の邪気払はるる追儼豆

赤鬼の面より貰ふ追儼豆

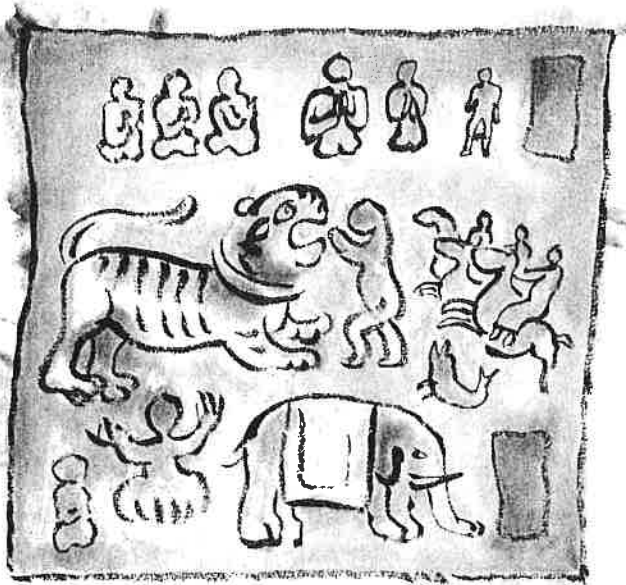






— ニュース・アラカルト —





*The story of Gubbins  
9th Century*